

野生鳥獣資源利用実態調査

- 平成28年度と29年度を比較すると、シカの解体頭数は14%増加しており、食肉・ペットフード利用量が増加していることから、販売実績は増加している。
- 販売価格については、微減。
- 施設の設立年は、多い順から、平成17年～21年が23施設（32%）、22年～26年が20施設（27%）、27年以降が12施設（16%）、11年以前が10施設（14%）、12年～16年が6施設（8%）となっており、22年以降設立の施設が43%となっている。（※有効回答73施設中。2施設は設立年不明。）
- 施設数は、2施設減少しているものの、年間処理能力頭数計は、28年度の約2万9千頭から、29年度には約3万5千頭と約6千頭（21%）増加していることから、施設の拡充により処理能力が向上した施設があるか、処理能力の低い施設が廃業し、処理能力の高い施設が開業したものと考えられる。
- 食肉処理実施期間は、通年実施する施設の割合が増加している。

野生鳥獣資源利用実態調査(農林水産省)(抜粋)

【食肉処理施設の解体実績等】

○鳥獣種別の解体頭数（北海道、シカ）（頭）

H28年度	28,026
H29年度	32,084

○ジビエ利用量

①北海道、食肉、シカ（t）

H28年度	400
H29年度	500

②北海道、ペットフード、全鳥獣（t）

H28年度	81
H29年度	243

○食肉処理施設数

H28年度	85
H29年度	83

【食肉処理施設の販売実績等】

○食肉処理施設で処理して得た金額

①北海道、食肉、シカ（万円）

H28年度	88,600
H29年度	96,300

②北海道、ペットフード、全鳥獣（万円）

H28年度	5,400
H29年度	13,300

【食肉処理施設の販売実績等】

○食肉処理施設で処理して得た金額（1施設当たり）

①北海道、食肉、シカ（万円）

H28年度	1,043
H29年度	1,160

②北海道、ペットフード、全鳥獣（万円）

H28年度	63
H29年度	160

【シカの販売価格】（北海道、食肉、シカ）（円/kg）

H28年度	2,014
H29年度	2,001

【食肉処理施設の概要】

○設立年別施設数（北海道、H29調査）

～1999	2000～ 2004	2005～ 2009	2010～ 2014	2015～	不明
10	6	23	20	12	2

○年間処理能力頭数（北海道、シカ）（頭）

H28年度	28,774
H29年度	34,687

○食肉処理実施期間別施設数（北海道、全鳥獣）

	通年	狩猟期間のみ	休業中
H28年度	32	22	6
H29年度	44	18	11